

8月10日は「健康ハートの日」 武田信玄公像のライトアップによる啓発活動

心疾患は我が国における死因の第2位です。心疾患の原因となる生活習慣病の予防や、心疾患が軽症であるうちに専門医への受診を行うことで健康寿命の延伸を望むことができます。また、突然の心停止時に蘇生処置やAEDの使用を適切に行うことで、救うことができる命があります。

8月10日が810（ハート）と読めることから、1985年にこの日を「健康ハートの日」とすることを日本心臓財団が提唱しました。日本心臓財団、日本循環器学会、日本循環器協会、日本AED財団の4団体共催で「健康ハートの日」プロジェクトを実施しています。今年の「健康ハートの日・健康ハートウィーク」は「ハートはともだち」をテーマに掲げ、『キャプテン翼』に登場するサッカー選手 三杉淳を心臓病啓発アンバサダーとし、心臓のはたらきや心臓病に対する理解を深めるセミナーやイベントが実施されます。

山梨県では山梨大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび日本循環器協会・山梨県支部が中心となり、啓発活動の一環として令和7年8月10日に甲府駅南口 武田信玄公銅像のライトアップを行います。ガールスカウトにも協力していただきイベントを行う予定です。



お問い合わせ

山梨大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

noushin-as@yamanashi.ac.jp

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

Tel: 055-273-1111

Fax: 055-273-6749